

# 富富富 特報

「富富富」は、全体として平年並みに生育しています。分けつの発生を促進するため、浅水管理を徹底しましょう。また、「中干し」は田植後4週間までに遅れずに開始しましょう！

	田植日	5月31日				
		草丈 cm	茎数		葉齢	葉色
			本/株	本/m <sup>2</sup>		
R04	5月16日	21.2	5.9	121	5.0	4.0
R03	5月16日	18.6	4.8	101	4.3	4.0
R02	5月15日	23.9	7.4	161	5.3	4.1

## 食味・品質向上のポイント

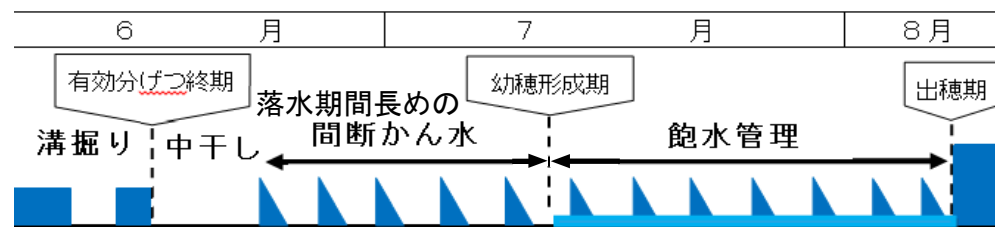
- ① 充実した茎を確保
- ② 葉色をコントロールして、籾数を抑える

### 【重点技術対策】

- ☆ 田植後4週間までに中干しの確実な開始
- ☆ 中干し後は落水期間が長めの間断かん水



## 《水管理のイメージ》



## 1 溝掘り・中干し ~根をしっかり伸ばすとともに、過剰な分けつを抑制~

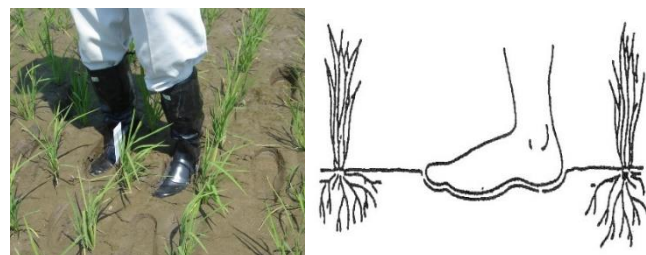
「富富富」は、初期の茎数が増え易い特徴を持っているので、溝掘りや中干しは遅れないように実施し、本格的な梅雨の前にしっかりと干しあげましょう。

### ●溝掘りのポイント

- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせてから溝を掘る。
- ・溝は、5mに1本を目安に掘り、乾きにくい場所は重点的に実施しましょう。
- ・ほ場の周囲と中央の1本は、特にしっかりと掘りましょう。
- ・溝は、水尻まで確実に連結しましょう。

### ●中干しのポイント

- ・中干しは、田植後4週間までに確実に開始しましょう。
- ・田面に小さなひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで干しましょう。
- ・表面に水がなくても足が沈むようでは不十分です。



【中干し終了頃のほ場の状態】

栽培基準を守って、高品質で美味しい「富富富」の生産を！

## 2 間断かん水 ~適度な酸素と水分を供給し、根や稲体を健全化~

- ・中干し終了後～幼穂形成期までは、「間断かん水」(1日湛水・3～4日落水(落水期間を長めにする))を行いましょ。
- ・幼穂形成期～出穂期までは、「飽水管理」を行いましょ。ただし、葉色が4.0より濃い場合は間断かん水を続けましょ。

## 3 「エスアイ加里らくだ」の施用 ~「カリ」と「ケイ酸」成分の補給~

- ・管内の水田土壌では、「カリ」と「ケイ酸」成分が大幅に不足しています。
- ・稲の受光体勢の改善、下葉の枯れ上がり防止等の効果が期待できることから必ず施用しましょ。



施用時期：6月20～25日頃  
 施用量：15kg/10a

## 4 中・後期除草剤の散布 ~化学合成農薬の成分使用回数12以内を厳守~

- ・一発除草剤の使用後もヒエや広葉雑草が残った場合は、中・後期除草剤を散布しましょ。
- ・中・後期除草剤を使用する場合は、今後の本田防除も含めて、化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるように、注意してください。

※本田防除(ラジヘリ防除の場合)は、4成分を使用する予定です。その他、農薬成分使用回数について不明な点がある場合は、事前に営農指導員へご相談ください。

対象雑草	農薬名	成分数	散布時期	散布量(kg/10a)
ヒエ	トドメ MF1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	1	田植後14日～ノビエ5葉期 (収穫50日前まで)	1kg
ヒエ 広葉	フォローアップ1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	2	田植後15日～ノビエ5葉期 (収穫60日前まで)	1kg
広葉 雑草	バサグラン粒剤 (落水してから散布する)	1	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg

## 5 区分管理上の留意点 ~「富富富」と他品種をしっかり区分して、混入防止~

- ・異品種混入を防止するため、浮き苗は確実に除去する。また、前作が異なる品種のほ場では、前年の漏生籾由来の稲株を確実に抜き取る。
- ・作付ほ場に、「富富富」栽培ほ場看板を設置する。

JA みな穂営農センター TEL 74-2440

JA みな穂西部支店経済課 TEL 72-1162

JA みな穂あさひ支店経済課 TEL 83-3212

JA みな穂中央支店経済課 TEL 72-5379

JA みな穂南部支店経済課 TEL 78-1167

新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0094